

## 図画工作科「形が動く 絵が動く」

【内容】「KOMA KOMA × 日本文教出版」のアプリを活用し、コマ撮りアニメーションを作成し、「ロイロノート」の提出箱で作品を回収し、鑑賞をした。

【使用アプリ】KOMA KOMA × 日本文教出版、ロイロノート、Googleドライブ

### 【事例紹介】

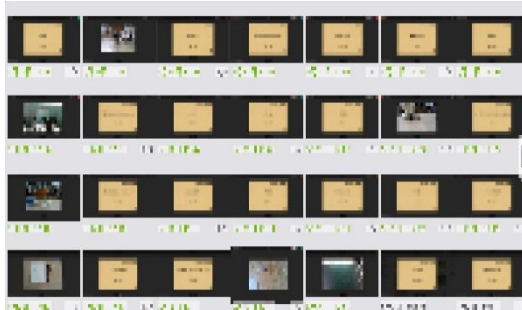
ものを少しずつ動かしたり、形を変えたりして撮った写真を連続して見ると、コマ撮りのアニメーションになる。本単元では、身近なものを材料に活用しながら、面白い動きや変化のあるアニメーションの作成を行った。「KOMA KOMA × 日本文教出版」はインストール不要、無料で活用できるコマ撮りアニメーション制作アプリである。とてもシンプルな操作で、1枚前の画像が薄く表示されたまま次の撮影ができる。そのため、動きの細かな調整がしやすく、児童はテンポよく制作することができた。



児童が思ったことや考えたことを次々と撮影し、表現することができるため、他の児童との共同制作も大いに盛り上がった。アニメーションの展開を相談し、試行錯誤を重ねる児童たちは笑顔にあふれていた。学習の終末部に、ロイロノートの付箋カードに書いた感想では、「思ったことがどんどんアニメになるのがとても楽しい。」「小学校生活で一番好きな授業だ。」など、意欲的な感想がたくさん出ていた。

### 【終わりに】

完成した児童の作品はGIFファイルとしてダウンロードできるが、これをそのまま画像ファイルとしてロイロノートに貼り付けることはできない。そこで、Googleドライブにダウンロードした後、画像ファイルのプレビュー画面に共有設定を掛け、そのリンク先をロイロWebカードにすることで、ロイロノート上でのやり取りができるようになった。ロイロノートが児童間での共有化を図る際に



大変有効であるのは、これまでのGIGAスクール通信からも明らかとなっている。ロイロノート以外のアプリで作成したもので、上記のような手立てで、ロイロノート上に取り込み、共有化をしていくことは、学習を深めていく一助となると考える。今後も積極的な活用をしていきたい。

☆教育委員会主幹講評☆ 「KOMA KOMA」をブラウザで使えるようにした「KOMA KOMA × 日本文教出版」を活用した事例です。シンプルなコマ撮りアニメーションが子どもたちの想像を促し、自分たちの世界を表現する楽しさを実感することができるツールです。子どもたちの創意工夫を大いに引き出すだけでなく、個々の学びをGoogleドライブ、ロイロノートを活用し、共有化できるようにするなど、新たな工夫によりICTの活用の幅を広げていただいた好事例です。